

香童の柊

No. 22

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成30年1月9日

文責：校長 廣田 昌英

今年もよろしくお願いします

本校の子ども達、一人一人が順調に成長してくれています。でも、いったいどのような人に成長して欲しいのでしょうか？私は、理想を持ち、現実との差に気付き、その差を仲間とともに克服しようとする、そんな人に成長して欲しいと考えています。そのため、子ども達には物事の意味、目的、必要性、面白さなどをよく理解して行動して欲しいと思っています。指示待ち型の子でなく、自分で考えて行動する子を育てたいですね。

今年も学校、地域、家庭で協力し合って、稲葉の子ども達を育てていけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

クラス予選会

始業式や終業式では、2名の代表児童が作文を発表します。本日の3学期の始業式では、2年生と4年生の代表児童が3学期の抱負を立派に述べてくれました。この代表児童は12月中に選出されているわけですが、私は2年生の選出の様子を見ることができました。

おそらく関口先生による書類選考を突破したであろう3名の児童が作文を発表し、その後の全員による投票で1名を選出したのです。楽しい作文内容でした。「3学期は漢字を頑張ります。なぜなら苦手だからです。なぜなら遊んでしまっただけ練習しないからです。」とか「九九を頑張ります。なぜなら大きい方の数字の九九が怪しいからです。」など、なかなか冷静な自己分析ですね。そしてこの学年の特徴とも言えるのが話を聞く態度。半数近くの子が机に突っ伏したり、消しゴム遊びに興じたり、投票用紙を丸めてみたり……。でも、1人の発表が終わるとすかさず拍手して賞賛し、3人の発表が終わるとすぐに代表の子を記入

して投票できるんです。しっかり聞いているんですね。

2学期の終わりに3学期に頑張りたいことを考える。大切なことですね。私も……。

そこは礼儀だろ？

年末の書写の授業では、年賀状シーズンを前にはがきの書き方を勉強していました。まずは自宅に届くよう、宛先を書く練習です。ちょっと驚いたのは、自宅の住所を調べてくることになっていたことです。小学校3年生以上でも、まだ住所を覚えてない子が少なくないんですね。そして書き始めたらさらにビックリ。「お父さんの名前、漢字がわかんない!」、「お母さんだったらわかるんだけどなあ!」って声があちらこちらから……。おいおいみんな、お年玉をくれる人達の名前だぜ!漢字で書けるようにしようよ!

学校便りの罪

4年生が接続詞の勉強をしていました。「明日は晴れるらしい。□□、……。」の□□に自由に接続詞を入れ、各自がオリジナルの文章を作る勉強です。「明日は晴れるらしい。だから、お出かけしよう。」とか、「しかし、信用できない。」といった具合です。男の子がかなりネガティブな文章を作ることにちょっと驚きでした。

その中で特に私の目に止まったのは、ある女の子の作品です。「明日は晴れるらしい。でも、来る先生によっては雨が降るかも知れない。」……え？雨を降らせる先生がいるの？え？いったい誰？なぜそんなこと知ってるの？…じゃなくて、思ったの？

文章を公開するときって、間違った情報を流さないよう気を付けなければいけませんね。稲葉小に雨を降らせる先生はいませんよ……たぶんね。